中部様式1

令和元年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

磐田市地域公共交通会議

平成１９年１０月１７日設置

フィーダー系統　平成３０年６月２９日　確保維持計画策定

1　地域の特性

・磐田市は静岡県の西部に位置し、東は袋井市・森町、北・西は、浜松市とそれぞれ接し、南は遠州灘に面している。
・補助対象地区である福田地区は市の南東部に位置し、南は遠州灘に面し、地区全域が低地となっている。
・磐田中央地区は市のほぼ中心部に位置し、磐田駅や市役所等の主要な公共施設が立地するまちの中心的地区である。

2　公共交通の現状

・ＪＲ東海道本線（磐田・豊田町・御厨【令和2年3月予定】）、天竜浜名湖鉄道（敷地・豊岡・上野部）
・民間路線バス：近隣市町と本市を結ぶ広域６路線、磐田駅を中心に放射線状に路線網を形成
・デマンド型乗合タクシー：自主運行バスの代替、バス路線など既存の公共交通機関への乗り継ぎ、通院や買い物などに利用

～運行開始～
平成22年11月～竜洋、平成24年10月～福田、平成25年4月～豊岡、
平成27年4月～磐田北部・東部・南部・豊田、平成28年1月～中央

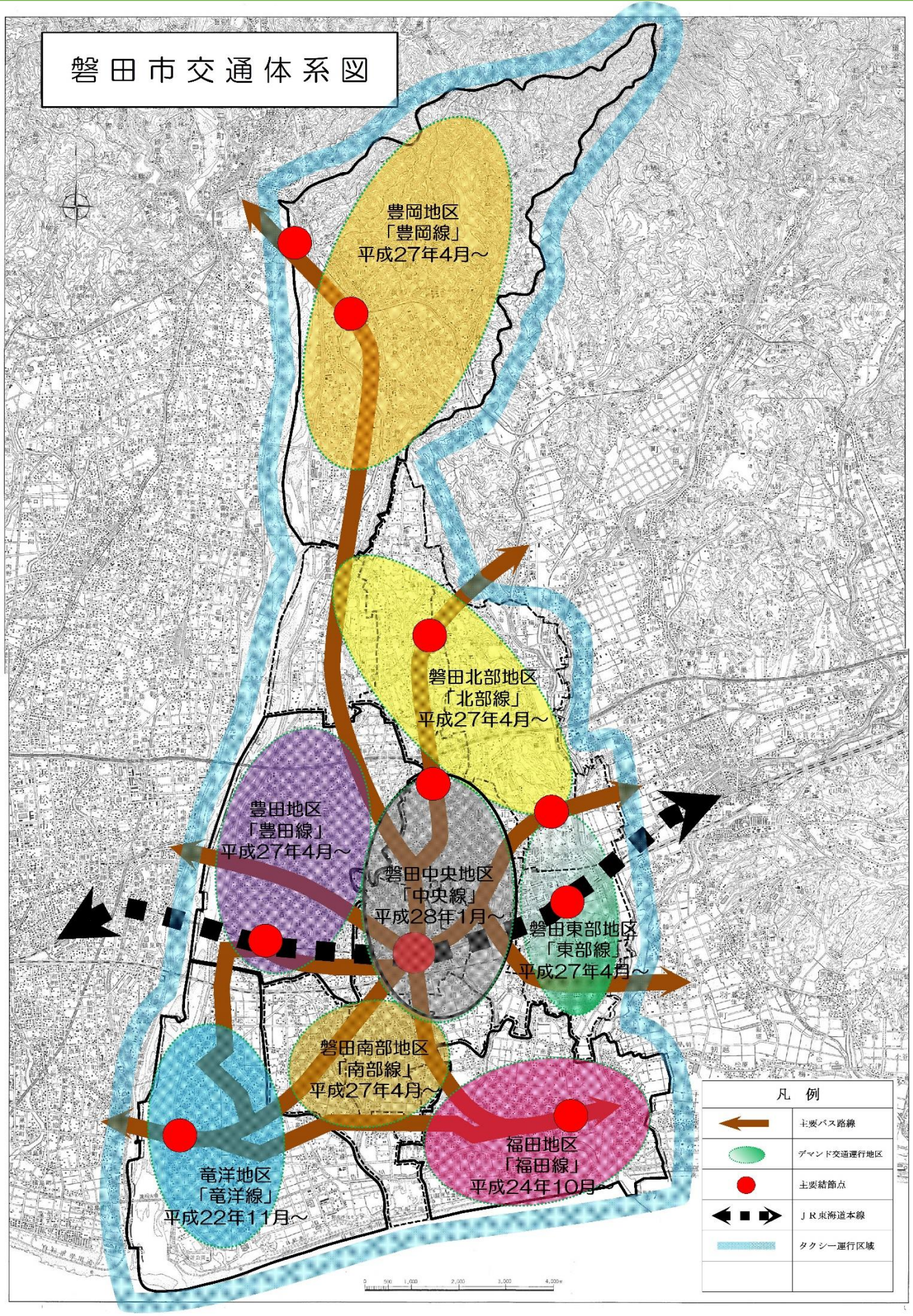
3　目標

①地域住民自らが公共交通の必要性について共通理解
②利用しやすい環境整備による利用促進
③持続性のある交通サービスを維持・確保

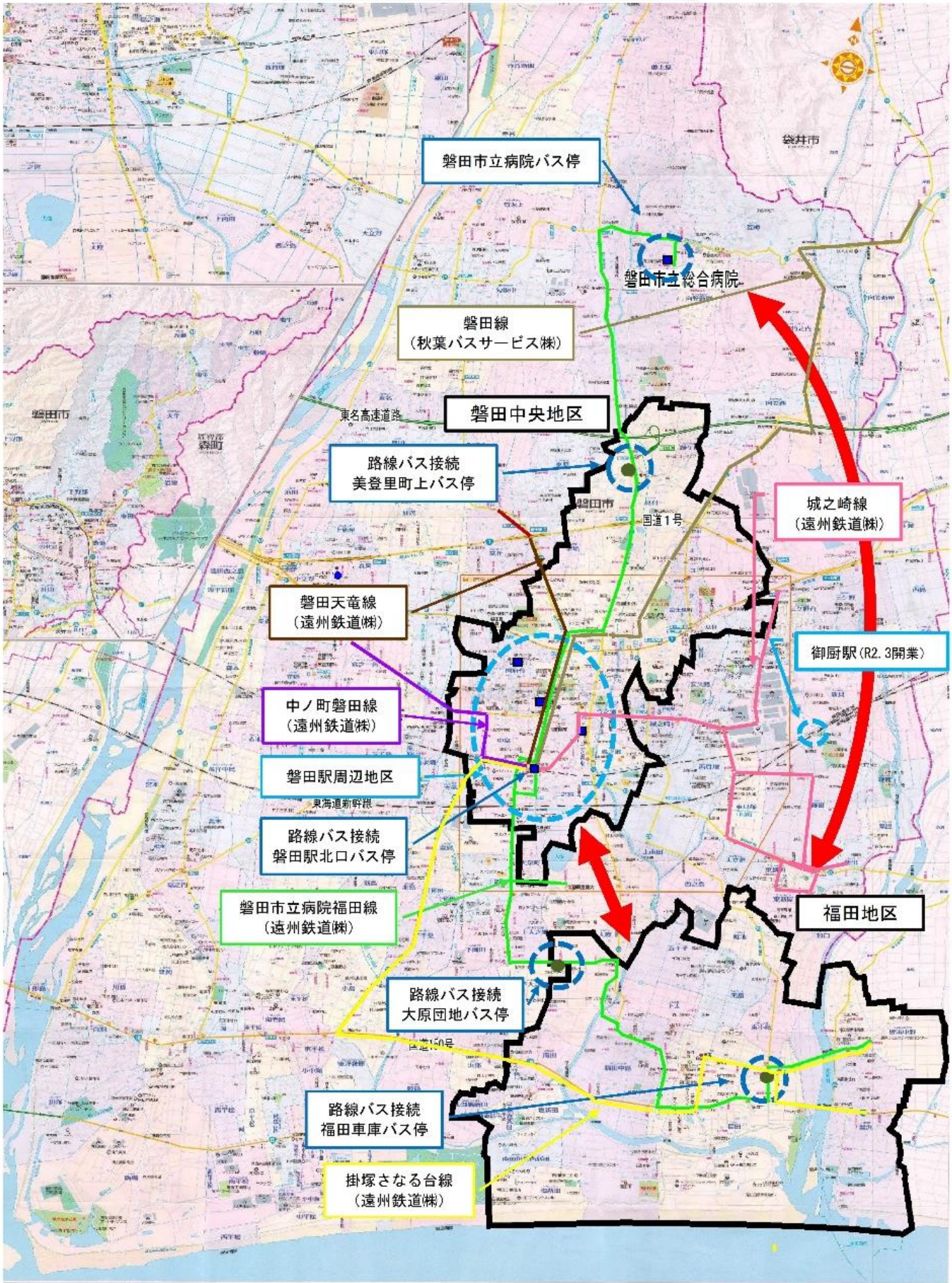
4　基礎データ（令和元年9月末現在）

人口：169,898人、高齢化率：27.9%、面積：163.45 ㎢

磐田市交通体系図


豊岡地区
「豊岡線」
平成27年4月～
磐田北部地区
「北部線」
平成27年4月～
豊田地区
「豊田線」
平成27年4月～
磐田中央地区
「中央線」
平成28年1月～
磐田東部地区
「東部線」
平成27年4月～
磐田南部地区
「南部線」
平成27年4月～
福田地区
「福田線」
平成24年10月～
竜洋地区
「竜洋線」
平成22年11月～
凡　例
主要バス路線
デマンド交通運行地区
主要結節点
ＪＲ東海道本線
タクシー運行区域

ネットワーク計画概要図



2.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容　（Do）

■ 当該年度実施した取り組み

１　啓発

・高齢者が集まる様々な機会での制度周知・意見聴取

・市ホームページや市広報紙等の媒体を活用した制度紹介

・磐田警察署の免許窓口での制度紹介

・交通安全指導員と連携した高齢者宅訪問での制度周知

・高齢者と接する機会の多い団体を通じた制度周知と登録促進

・運行事業者と協力したタクシー車内での制度紹介とアンケート調査の実施

２　利用状況の検証と利便性向上策の検討

・平成29・30年度におけるデマンド型乗合タクシー運行内容の見直し

・運行事業者との定例会における利用状況や利便性向上策等の情報共有

■公共交通ネットワークの中での位置づけ・地域間幹線系統との接続状況

・デマンド型乗合タクシーの役割：高齢者等の日常生活における移動手段の一つ、既存の公共交通機関を補完

・バス路線等への乗り継ぎを図るため、交通結節点に配慮した上で指定施設を設定

3.計画の達成状況の評価指標とその結果　（Check）

指標	前年度実績 （H29.10～H30.9）	目標値 （H30.6策定）	実績 （H30.10～R1.9）	
一日当たり利用者数	６．７人	６人	８．１人	（福田地区）
	１４．８人	１４人	２５人	（中央地区）
交通結節点（主要バス停、磐田駅）利用者数	２１３人	２５０人	２２６人	（福田地区）
	３８３人	１９０人	１，００３人	（中央地区）

※直近2か年の実績値や伸び率を参考に設定

＜福田地区の評価＞

・磐田市立総合病院の運賃引き下げや予約受付時間短縮等の**運行見直しにより、一日当たり利用者数は目標値を上回った**

・交通結節点利用者数は**一部の利用控えが影響し目標値を下回ったが、実利用者数は前年度を維持**

＜中央地区の評価＞

・利用対象者年齢の引き下げや磐田市立総合病院の指定施設追加等の**運行見直しにより、一日当たり利用者数・交通結節点利用者数ともに目標値を大きく上回った**

＜今後の方針＞

・福田・中央地区とも**利用拡大が図られているため、今後も維持できるように努める**

・上記自己評価について、令和元年12月25日の磐田市地域公共交通会議で協議

〈参考〉

『お助け号』利用状況（運行期間：H30.10～R1.9）

地区名	一日当たりの利用者数	交通結節点利用者数	全体利用者数
豊田地区	21.4	446	6,208
磐田北部地区 （大藤・向笠・岩田地区）	3.5	180	811
磐田東部地区 （西貝・田原・御厨・南御厨地区）	7.7	209	2,221
磐田南部地区 （天竜・長野・於保地区）	9.6	181	2,778
磐田中央地区 （見付・中泉・今之浦地区）	25.0	1,003	7,254
竜洋地区	10.9	252	3,168
福田地区	8.1	226	2,347
豊岡地区	5.9	157	1,608
合　計	92.1	2,654	26,395

4.自己評価から得られた課題と対応方針　（Act）

課題	対応方針
制度内容の浸透により住民の認知度が高まっているが、利便性の向上に向けて、登録者のさらなる利用実態を把握する必要がある	関係団体と連携した多方面からの登録者の利用実態集約方法を実施

■具体的な取り組みについて

①住民周知・利用促進検討会の開催（令和元年9月～10月実施）
- 制度周知や利用促進を図る事項等について協議
- 自治会、老人クラブ、民生委員、福祉関係団体、運行事業者及び市職員で組織する検討会を全地区にて開催

②アンケート調査実施（令和元年12月～令和2年1月予定）
- 住民からの問合せが多いリハビリ系病院の利用者意向を把握

③高齢者が集まる様々な機会を活用した情報収集（通年）

④民生委員や地域包括支援センター、自治会連合会等の団体を通じた情報収集（通年）
- 住民への制度周知・登録をサポート、住民から行政への橋渡し役

⑤運行事業者との定例会を通じた運転手からの意見収集（通年）

中部様式2

令和元年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

磐田市地域公共交通会議

平成１９年１０月１７日設置

フィーダー系統　平成３０年６月２９日　確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
地域間幹線系統に関する記載がないが、掛塚さなる台線や磐田線は関係ないということか。幹線系統とフィーダー系統の乗継に関しても把握しておく必要がある。	中部様式の路線図に記載した。バス停とその周辺施設をデマンド型乗合タクシーの目的地に設定することで、フィーダーとしての役割を果たしている。	今後も、目的地を設定する上では、幹線系統とフィーダー系統の乗継を意識していきたい。
網形成計画の評価と本様式の評価の関係性はどうなっているのか。	本様式における評価は、フィーダー系統としてのデマンド型乗合タクシーの乗継を踏まえた評価である一方、網形成計画は新たな交通拠点となる磐田新駅周辺地域における地域公共交通網の形成にかかる評価項目を設けている。	公共交通ネットワークをよりよいものとするため、福田地区・中央地区だけでなく、他地区の状況についても情報提供に努めていく。

■平成30年10月～令和元年9月実施のアピールポイント一覧

内容		効果
高齢者サロンや地区の敬老会における制度周知	・住民との意見交換をする中で、利用者目線での課題や要望の収集・検証 ・防犯、交通安全、防災の啓発でデマンド型乗合タクシーも周知	・登録者数、利用者数の増加 ・平成29年度：6,479人、15,416人 ⇒平成30年度：7,588人、23,511人 ・利用者のうち、運転免許証自主返納者の割合が増加 ・平成29年度：15%⇒平成30年度：25%
交通安全指導員と連携した高齢者宅訪問での制度周知	・運転免許証自主返納の促進とあわせたデマンド型乗合タクシーの制度周知	

高齢者サロンの様子

（別添1）

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和元年12月25日

協議会名： 磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行（航）区間、整備内容等を記載（陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助（調査検討の経費を除く。）を受けている場合は、その旨記載）】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか（方向性又は具体的な内容）を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
①福田地区デマンド型乗合タクシー ②磐田中央地区デマンド型乗合タクシー 委託事業者：遠鉄タクシー株式会社	①福田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行 ②磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行	H29・30年度に運行内容の見直しを図ったことによる利便性の向上について、利用者からの意見を把握するため、車内アンケート調査や高齢者サロン等での意見交換を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	評価指標 ①一日当たり利用者数 ②交通結節点利用者数 ［福田］（　）は目標値 ①8.1人（6人） ②226人（250人） ［磐田中央］ ①25人（14人） ②1,003人（190人） ※分析等：福田地区の交通結節点利用者数は一部の利用控えが影響し目標値を下回ったが、実利用者数は前年度を維持している。また、評価指標以外の把握方法として、新たに採り入れた車内アンケート調査により、利用者の声を把握した。	引き続き、高齢者サロンや意見交換会等の地域住民の声を聴く場を広く設けるとともに、警察署等、関係機関と連携・協力して制度の周知拡大に努めていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和元年１２月２５日

協議会名：	磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	本市の公共交通は、５つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、全域運行のデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフィーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内はもとより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。 今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民・組織の関係者が役割分担をし、相互に連携、協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。